



道路ニュース

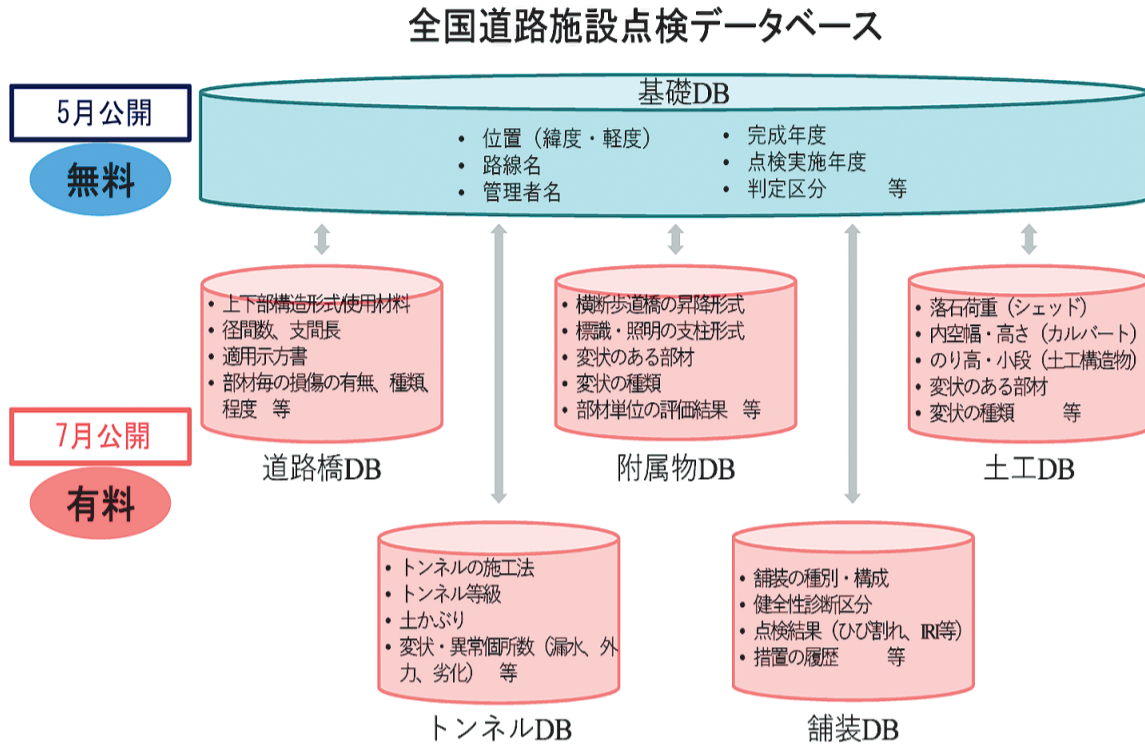
THE ROAD NEWS No. 633
令和4年8月号

発行所 全国道路利用者会議
〒100-0013
東京都千代田区霞ヶ関3-3-1
尚友会館6階
電話 03-3501-5611(代)
発行人 小林 勉
定価 20円(会員の購読料は会費を含む)

8月10日は「道の日」

全国道路施設点検データベース <https://road-structures-db.mlit.go.jp/>

道路施設の詳細な点検データの公開開始



5月公開
無料

7月公開
有料

国土交通省道路局では、デジタル道路地図等を基盤として各種データを紐付けるデータベースの構築を進めている。

XROADの一環として、民間企業等による技術開発の促進、これによる維持管理の更なる効率化等を目的として、「全国道路施設点検データベース」の整備を進めている。

5月から「全国道路施設点検データベース」構築マツプにおいて橋梁、トンネル等の基礎的なデータ(諸元、点検結果等)を無料公開していたが、令和4年7月12日から、より詳細なデータの有料公開を開始した。

【全国道路施設点検データベースとは】

全国道路施設点検データベースは、橋梁、トンネル等の諸元、点検結果等の基礎的なデータを持つデータベースと道路施設の詳細なデータを持つデータベース(詳細データベース)の2つで構成されている。

道路管理者等に蓄積されている定期点検のデータを一元的に活用できる環境を構築することで、研究機関や民間企業等による技術開発を進めていくこととなる。

【今後の取り組み】

地方公共団体等の道路管理者との連携等によるデータの拡充や国土交通データベースとの連携を進めていくこととなる。

【公開したデータ等】

基礎データベース部分を5月に無料で公表していたが、詳細データベース部分を令和4年7月12日から有料で公開した。詳細については、「全国道路施設点検データベース」のホームページを参照。

公開データ

詳細DB	施設	閲覧可能データ (5月無料公開範囲※1)	
		対象	データ項目
道路橋	橋梁	全道路管理者の約72万橋	基礎データ約15項目※3
トンネル	トンネル	全道路管理者の約1.1万本	
附属物	横断歩道橋	全道路管理者の約1.2万施設	
	門型標識等	全道路管理者の約1.7万施設	
舗装	舗装	名古屋国道事務所の約800km※2	
土工	シェッド	全道路管理者の約0.3万施設	
	大型カルバート	全道路管理者の約0.8万施設	
	特定土工	-	

閲覧・取得可能データ (7月有料公開範囲※1)	
対象	データ項目
全道路管理者の約72万橋	詳細データ約200項目: 構造諸元(代表値)、点検結果、耐震補強状況等
国交省管理の約3.8万橋	詳細データ約1,400項目: 上記に加え構造諸元(構造体毎)、構造・材料種別点検結果(要素・部材単位を含む)、点検・補強履歴等
全道路管理者の約1.1万本	詳細データ約100項目: 施工法、変状・異常箇所数(漏水、外力、材質劣化)等
国交省管理の0.2万本	詳細データ約300項目: 上記に加え諸元(トンネル等級、土かぶり等)、非常用施設諸元、診断結果等
全道路管理者の約1.2万施設	詳細データ約130項目: 構造諸元(代表値)、点検結果、橋下の管理者等
国交省管理の約0.2万施設	詳細データ約1,300項目: 上記に加え構造諸元(構造・材料種別等)、変状のある部材、変状の種類、部材単位の評価結果等
全道路管理者の約1.7万施設	詳細データ約40項目: 構造諸元(代表値)、点検結果、施設設置場所等
国交省管理の約0.4万施設	詳細データ約900項目: 上記に加え構造諸元(標識表示内容等)、変状のある部材、変状の種類、部材単位の評価結果等
国交省管理の約4.6万km※2	詳細データ約130項目: 舗装の種類・構成、健全性診断区分、点検結果(ひび割れ、IRI等)、措置の履歴等
全道路管理者の約0.3万施設	詳細データ約30項目: 内空断面、上部・下部構造、点検結果の判定区分(代表値)、所見等
国交省管理の約750施設	詳細データ約200項目: 上記に加え設計条件(落石荷重等)、変状のある部材、変状の種類等
全道路管理者の約0.8万施設	詳細データ約30項目: 内空施設、構造形式、使用材料、点検結果の判定区分(代表値)、所見等
国交省管理の約2,500施設	詳細データ約100項目: 上記に加え内空幅・高さ、変状のある部材、変状の種類等
国交省管理の約1.8万箇所	詳細データ約200項目: のり高・代表勾配・小段数、主な構成施設、変状の種類等

※1: 7月の有料公開に伴い無料公開の対象を拡大

※2: 上下線別の数字

※3: 施設名称、路線名、管理者区分、管理者名、管理事務所名、都道府県名、市町村名、緯度・経度、完成等年度、延長、幅員、点検実施年度、判定区分等

データベースの活用に係る料金

	登録	利用(閲覧・取得)
基礎データ	無料	無料
詳細データ	有料 道路法第77条に基づき全道路管理者に対し毎年行っている調査結果の登録は無料 ※独自のデータベースを保有する道路管理者との連携については、その方法も含め引き続き検討	有料 道路管理者が自身のデータを利用する場合は無料

国土交通省は踏切道改良促進法に基づき、令和4年7月29日に災害時の管理の方法を定めるべき踏切道に付いて、全国191箇所の指定を追加で行った。

指定された踏切道の鉄道事業者・道路管理者は、災害時の踏切道の管理方法として以下を定めた。

▽警察・消防などの関係機関との連携を図ることとなる。

なお、令和3年6月30日に、災害時の管理の方法を定めるべき踏切道として指定した181箇所は、全ての箇所において、連絡体制及び対処要領の策定を完了しており、一部の箇所において、訓練の実施も行っていった。

災害時の管理の方法を定めるべき踏切道を追加で指定

国土交通省は踏切道改良促進法に基づき、令和4年7月29日に災害時の管理の方法を定めるべき踏切道に付いて、全国191箇所の指定を追加で行った。

指定された踏切道の鉄道事業者・道路管理者は、災害時の踏切道の管理方法として以下を定めた。

▽警察・消防などの関係機関との連携を図ることとなる。

なお、令和3年6月30日に、災害時の管理の方法を定めるべき踏切道として指定した181箇所は、全ての箇所において、連絡体制及び対処要領の策定を完了しており、一部の箇所において、訓練の実施も行っていった。

「朗らかな防災活動が言われた朝」

令和4年度「道路ふれあい月間」推進標語

“道路総合システムサービス”企業

NICHIREKI

ニチレキ株式会社

東京都千代田区九段北4-3-29 TEL.03(3265)1511代表